

令和4年度 南九州大学・南九州短期大学卒業式 式辞

本日、学士・短期大学士・修士の学位を授与された皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。また、保護者・ご家族の皆様には心からお祝いを申し上げます。保護者の方々には卒業式にご列席いただくことができず、縮小した形での式の開催になり申し訳なく思っております。ライブ配信などを通してお子様方の晴れ姿をご覧いただき、ご一緒にお祝いできれば幸いです。さらに、お忙しいなか、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様、厚くお礼申し上げます。

さて、みなさんはあらためて学生生活を振り返ってみると様々な思いがよぎることと思います。

3年前から始まった新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大学卒業生のみなさんは1年生の終盤から、短期大学卒業生のみなさんは高校生のときから大きな影響を受けました。感染拡大時には大学への通学を控えざるを得ず、自宅等で授業をオンラインで受講する対応が取られ、サークルなど課外活動にも制限が加えられました。

保護者の皆様はコロナ禍で過ごす大学生活に戸惑いながらも健気に取り組むお子様方を様々な形で励まし温かく見守られたことと思います。

世界全体が予期せず新型コロナウイルスの影響を受けたとは言え、大学での過ごし方がこれまでと大きく変わってしまい、皆さんが想像していたような学生生活が送れなかったことについては残念に思っています。

皆さんはこれまでの歴代の大学生が経験したことのない困難な状況を十代の終わりから二十代始めの年齢で経験することになりました。そのような状況の中でもみなさんが工夫をしながら勇気を持って対応してこられたことに心から敬意を表します。意図せず受けざるを得なかった困難な状況の中でみなさんが身に付けた対応力や突破力は、今後の人生において必ず役立つはずで

ここ宮崎では今年の2月にワールドベースボールクラシック（WBC）日本代表チームがキャンプを実施し、地元宮崎は大いに盛り上がりました。2009年のWBC大会にも参加し日本のプロ野球やメジャーリーグで長きに渡り活躍したイチロー選手は、プロ野球チームに入団した当初、セオリーとは異なるバッティングスタイルである独特の振り子打法が首脳陣から認められず、二軍暮らしが続きましたが、新たに指揮官となった仰木彬監督は「納得

いくまで続けなさい」とそのままのバッティングスタイルを続けさせました。するとイチロー選手の打撃成績が上昇し大活躍することになりました。イチロー選手にとって野球人生の最大の恩人は仰木監督だったと言えるでしょう。もし仰木監督に出会わなかったらその後のイチロー選手の活躍はなかったかもしれません。このように人との出会いが人生を変えることがあります。みなさんも社会に出てから様々な人たちと出会い、その中で人生を左右する人に出会うこともあるでしょう。また同時に、みなさんがある程度経験を重ねてから後輩の人生に大きなヒントを与えることになるかもしれません。ぜひ人との出会いを大切に、ヒントをしっかりとつかみ取り実らせてください。物事を決めたり判断したりする際に、様々な人たちの考えを聞き、しっかりと吟味することにより適切な判断ができるようになるものと思います。

本日、皆さんが授与された学位は、皆さんがそれぞれの専門分野に関する知識や技術を習得したことの証しです。南九州大学・南九州短期大学は創立後 55 年以上が経過し、卒業生は合わせて一万六千名を超えており、みなさんの先輩たちが様々な分野で活躍しています。このたび本学を卒業し社会人としての一步を踏み出す卒業生のみなさんもこの先輩たちに続いて大いに活躍するものと期待しています。そして、後輩たちもみなさんに続いて学業に励み、あとに続いて行くことでしょう。

最後になりますが、みなさんが宮崎キャンパス・都城キャンパスで過ごした 2 年間または 4 年間の経験を糧にして自信と気概をもって、それぞれの場でしっかりと役割を果たしていただけることを、私たち教職員は心から願っています。

これからの皆さんのご活躍とご健康を祈念し、私の式辞とさせていただきます。

令和 5 年 3 月 14 日 南九州大学・南九州短期大学長 中瀬昌之